

中国の記事から (WTO/FTA・貿易・安全 ・その他)

2006年6月20日号

目次

- ◎江蘇省、メタミドホスら高毒性農薬5種の使用を来年から禁止
【中国化工報 2006年06月12日】
- ◎5月の消費者物価は都市で1.4%増、農村で1.2%増
【経済日報 2006年06月13日】
- ◎広東産の活ウナギ輸出好調
【国際商報 2006年06月13日】
- ◎中央政府、農村部の飲料水問題解決のために40億元投下
【経済日報 2006年06月13日】
- ◎農薬生産大省の浙江省、農薬量増加率が鈍化
【中国化工報 2006年06月15日】
- ◎国務院会議、農村支援強化、融資急増抑制などの方針確認
【経済日報 2006年06月15日】
- ◎国家質検総局「農薬の合格率は92%」
【中国化工報 2006年06月19日】
- ◎1～5月の全国貿易額は23%増の6478億米ドル
【経済日報 2006年06月19日】
- ◎再生可能エネルギーの割合を2010年までに16%に拡大
【経済日報 2006年06月19日】
- ◎農村からの出稼ぎ労働者年収は8520元、都市部従業員の45%にとどまる
【市場報(人民日報主編) 2006年06月20日】
- ◎広西自治区、キャッサバ原料のアルコール燃料生産へ
【中国化工報 2006年06月20日】

◎福建省、1～5月の輸出が2割増の155億ドル記録

【国際商報 2006年06月20日】

◎江蘇省、メタミドホスら高毒性農薬5種の使用を来年から禁止

【中国化工報 2006年06月12日】

江蘇省農林庁は、5月30日、2007年1月1日から全省でメタミドホス、パラチオン、メチルパラチオン、モノクロトホス、ホスファミドンの高毒性農薬5種の使用を全面禁止すると発表した。農業部が第322号公告を公布して以降、江蘇省は高毒性農薬の代替品80種を発表してきた。代替となるこれら高効果の低毒性、少残留の農薬は全省で広く使用され、上記の高毒性農薬5種使用量の全農薬使用量に対する割合も従来の50%から2005年には10%にまで縮小している。

同庁は、高毒性農薬がまだ生産されていることから、これらが市場に流入するリスクも存在し、一部生産農家は高毒性農薬に対する認識が不足していると判断、2007年からの全面使用禁止を決定した。

◎5月の消費者物価は都市で1.4%増、農村で1.2%増

【経済日報 2006年06月13日】

国家統計局は、12日、5月の全国消費者物価は前年同月比1.4%増となったと発表した。

都市部では1.4%増、農村部では1.2%増。食品価格は1.9%増、非食品価格は1.1%増。消費財価格は1.2%増、サービス価格は2.0%増を記録している。

食品価格の内訳は、穀物が1.7%増、油脂が4.7%減、家きん肉・製品が9.3%減、タマゴが14.1%減、水産物が0.8%増、野菜が14.6%増。たばこ・酒類価格は0.4%増、家庭設備用品・修理サービス価格は0.8%増、医療・保健サービス・個人用品価格は1.3%増、住居関連価格は4.5%増。

また、衣類、交通・通信、娯楽・教育・文化サービス価格は下落した。輸送用機器価格は2.1%減だったが、燃料・部品価格は13.2%増と各品目中最高の増加率を記録している。このほか、1～5月の消費者物価は前年同期より1.2%増となっている。

◎広東産の活ウナギ輸出好調

【国際商報 2006年06月13日】

5月29日から日本で食品中の残留農薬・動物用医薬品・飼料添加物などを検査するポジティブリスト制が実施され、各地の日本向け農産物輸出が減少する中、広東省の活ウナギ輸出は順調である。5月29日から現在まで、同省は計58.6トン(27回)の活ウナギを輸出している。国家質量監督検疫検疫総局(国家質検総局。製品品質を管理。)広東局はウナギに関連する112種の動物用医薬品の使用状況を徹底調査、日本にも関係者を派遣するなどして検査能力向上を図り、制度実施後も順調な輸出を維持している。

中国産ウナギの輸出は、2002年以降、「技術障壁」に幾度も阻まれているが広東省は迅速な

対応で輸出を増やしている。2006年1月1日から5月28日までの同省活ウナギ輸出量は4491トン(1810回)、輸出額は5528万ドルを記録している。

◎中央政府、農村部の飲料水問題解決のために40億元投下

【経済日報 2006年06月13日】

水利部の汪恕誠・部長は、9日、中央政府は今年40億元を投じて、農村部2000万人の飲料水安全を確保していく方針であることを明らかにした。地方政府も40億元を投じる。2001～2005年、中央政府は223億元を、地方政府は106億元を投じて全国6700万人の飲料水の安全を確保してきた。

しかし、2005年末現在、まだ3億1200万人の飲料水の安全が十分ではないとされる。このため国は2006～2010年に1億人の飲料水安全を確保し、2020年までに農村部の飲料水の安全問題を基本的に解決していく計画である。

◎農薬生産大省の浙江省、農薬量増加率が鈍化

【中国化工報 2006年06月15日】

全国的大農薬生産省である浙江省の2005年の農薬生産量は26万2200トン(前年比1.8%増)、販売量は24万5600トン(同5.8%増)を記録、輸出額、利益なども増加した。また、2006年1～4月、同省の農薬生産量などは増加したものの増加率は鈍化している。農薬売上の増加率は前年同期より21ポイント減、農薬生産量増加率も13ポイント減となった。国際原油が1バレル70ドルを突破するなど高騰していることを受け、農薬の原料となるベンゼン、トルエン、キシレンなどが値上り。特に2005年に6000元だったキシレンは現在9300元にまで急騰している。

また、農薬市場でも競争は激しく、1～4月の農薬輸出量は前年同期より29.9%増となったのに対して輸出額は同3.0%下落している。

◎国務院会議、農村支援強化、融資急増抑制などの方針確認

【経済日報 2006年06月15日】

国務院(内閣に相当)は、14日に常務会議を開催(温家宝総理主宰)、現在の経済情勢などを分析し以下の点に力を入れていくことを確認した。

1. 農業、農村支援強化。食糧の安定的生産を確保し、洪水予防と災害被害救済を行う。農業生産力向上により農民所得増加を図る。農地の無秩序な転用を防止する。
2. 固定資産への投資増加を抑える。特に土地所有権、融資をコントロールし、投資事業の環境保護、安全面での審査を強化する。生産能力が過剰となっている業界の新規事業については特に厳しく抑制していく。
3. 金融機関融資の急増を抑える。また農業分野、中小企業に対する融資を強化していく。
4. 省エネ目標達成責任制度、評価体系を構築、省エネ、環境保護を強化。エネルギーを大量に消費する業界については別の電力料金体系を適用する。

5. 対外貿易のバランスの取れた発展を促す。エネルギーを消費し環境を汚染する製品、資源の輸出を抑制すると共に国内で不足している資源、設備の輸入を拡大する。

◎国家質検総局「農薬の合格率は92%」

【中国化工報 2006年06月19日】

国家質量監督検験検疫総局(製品品質を管理。国家質検総局)は11日、河北省、上海市、江蘇省、浙江省、安徽省、江西省、山東省、河南省、広東省、海南省、雲南省などの11省・直轄市にて、農薬メーカー55社の80製品を対象に行った品質サンプリング検査の結果を発表、合格率は92.5%であったことを明らかにした。大手メーカー20社の31製品は全て合格した。

一方、トリアゾホスの含有量不足が1製品、PH値不合格が4製品あった。国家質検総局は不合格製品のメーカーに対して改善命令を出している。

◎1～5月の全国貿易額は23%増の6478億米ドル

【経済日報 2006年06月19日】

商務部の報道官・崇泉は15日、1～5月の全国貿易額は6478億5000万米ドル(23.9%増。前年同期比、以下同じ)に達したと発表した。

同期対外貿易の特徴として以下の点が挙げられている。

1. 機械・電気製品の貿易額は、3603億4000万米ドル(30%増)、ハイテク製品は1933億9000万米ドル(31.8%増)に達した。
 2. 主要国・地域との貿易額は、対EUが983億3000万米ドル(20.2%増)、対米国が973億8000万米ドル(25.4%増)、対日本が791億3000万米ドル(12%増)、対韓国が508億2000万米ドル(19%増)となっている。
 3. 一般貿易額は2765億6000万米ドル(22.7%増)、加工貿易額は3074億3000万米ドル(23.9%増)に上った。
 4. 5月末現在、18カ国・地区が中国から輸入する製品を対象に反ダンピング、セーフガード調査など32件を実施している。調査対象製品は、4億8000万ドル規模に達している。
-

◎再生可能エネルギーの割合を2010年までに16%に拡大

【経済日報 2006年06月19日】

国家発展改革委員会エネルギー局の徐錠明・局長(国家エネルギー指導チーム弁公室副主任)は17日に開かれた中国再生エネルギー・新エネルギー産業化フォーラムにて、同委員会が策定中の再生可能エネルギー中長期発展計画では、全国エネルギーにおける再生エネルギーの割合を2020年までに16%へと拡大することを目指していると明らかにした。水力発電ユニット出力3億キロワット、風力発電ユニット出力3000万キロワット、バイオマス発電輸出力3000万キロワット、メタンガス利用量443億立方メートル、太陽熱発電ユニット出力180万キロワット、太陽熱温水器設置面積3億平米、燃料用エタノール年産量1000万トン、バイオディーゼル年産量200万ト

ンを目指していく。

目標実現のため政府は専用の支援資金を設け、税制面でも優遇、水力発電以外の再生可能エネルギー市場シェアの割合について強制目標設定、再生可能エネルギーによる電力価格の制定、人材育成などを行っていく。

◎農村からの出稼ぎ労働者年収は8520元、都市部従業員の45%にとどまる

【市場報(人民日報主辦) 2006年06月20日】

中国人民銀行(中央銀)は、「2005年中国区域金融報告」を発表、2005年の農村からの出稼ぎ労働者1人あたりの収入は8520元に達したことを明らかにした。出稼ぎによる収入は農民らの主要な収入源となっているものの、都市部企業・事業所などの従業員の年収の45%にとどまっている。同年、農村から都市に出てきた出稼ぎ労働者数は全国農村人口の15.5%に相当する計1億4000万人であった。出稼ぎ労働者は若者が中心で教育水準も向上、人数も増加する傾向にある。半数以上の出稼ぎ労働者が加工・製造業、建築業、資源採掘業、衛生維持、家政、飲食サービスなどの業界に従事している。農民の収入のうち出稼ぎ労働によるものは約6割を占めている。

また、1人あたりの年間所得は広東省で1万1052元、上海市で1万416元に上った。賃金の遅配、欠配は減少したが、雇用者が農村からの出稼ぎ労働者のために労災保険、医療保険に加入しているのは全体の3分の1にとどまり、労災が発生した際に雇用者が実際に負担する費用も5割以下となっている。

◎広西自治区、キャッサバ原料のアルコール燃料生産へ

【中国化工報 2006年06月20日】

広西チワン族自治区は、キャッサバを原料とするアルコール燃料生産事業の準備を進めている。2007年上期に自治区全域でアルコール燃料使用を始め、雲南省、貴州省、広東省などにも供給していく計画である。広西発展改革委員会によると、自然環境に恵まれた同自治区ではキャッサバ400万ムー(1ムーは6.6アール:2,640km²)を栽培、年間750万~800万トンのキャッサバを生産。今後の生産量は2,000万トンにまで達する見込みである。

また、アルコール燃料を1トンするのに必要なキャッサバは3.7トンで、キャッサバ原料のアルコール燃料の将来性は高く評価されている。また広西チワン族自治区は第11次5カ年計画(2006~2010年)期間中、5期に分けて100万トン級のアルコール燃料生産事業を実施する予定で、第1期事業は南寧市で実施していく。

◎福建省、1~5月の輸出が2割増の155億ドル記録

【国際商報 2006年06月20日】

福建省の福州市税関は、1~5月の全省輸出額は155億ドル(21.0%増。前年同期比、以下同じ)、輸出額は84億6000万ドル(9.7%増)、計239億6000万ドル(16.7%増)に達したと発表した。特徴として以下の点が挙げられている。

1. 外資系企業の輸出額は94億1000万ドル(14.5%増)、輸入額は62億2000万ドル(12.0%増)、民営企業の輸出額は37億9000万ドル(52.5%増)、輸入額は8億1000万ドル(6.7%増)だった。
2. 各国・地区向け輸出額は米国向けが39億200万ドル(23.8%増)、EU向けが29億5400万ドル(16.4%増)、日本向けが26億3000万ドル(7.7%増)、香港向けが10億8600万ドル(17.9%増)、ASEAN向けが10億6100万ドル(25.3%増)であった。
3. 機械・電気製品輸出額は69億4100万ドル(20.3%増)、靴製品は16億2800万ドル(19.1%増)、衣類は14億7100万ドル(31.0%増)、ディスプレイは12億3700万ドル(20.6%増)、農産物は9億7400万ドル(14.5%増)となった。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。